

1月13日：朝方1,200ポイントをつけた後、VN指数は反落

水曜日のベトナム株式市場は売り買い交錯し、VN指数が急落したが、一方でHNX指数は0.23%上昇した。

ホーチミン市場では、VN指数は朝方0.3%近く上昇したが、終値は0.52%安の1,186.05ポイントだった。同指数は朝方1,200ポイントをつけた。先週から続く連騰は途切れた。

国内投資家の豊富な資金流入を受け、VN指数は今後すぐに1,204ポイントの最高値を更新するだろうと、多くの証券会社が予想する。

19セクター中、6セクターのみの上昇でVN指数は引けた。そのうち値下がり銘柄数は254、値上がりは193、変わらずは37銘柄だった。

「資金流入は細った。値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回ったが、売買高は前日よりも増加した」（BIDV証券）

売買高は約8億1,900万株以上、売買代金は18兆2,000億ドン（7億9,200万USドル）だった。

VN30指数は午前中の上昇から逆行し、0.38%安の終値1164.57ポイントだった。多くの大型株、特に不動産開発の銘柄は水曜日に急落した。

ビンググループ（VIC）は大きく値下がりし、およそ3%安の111,100ドンだった。ビンホームズ（VHM）も2.42%安の100,900ポイント。ビンコムリテールが1.36%安の36,200ドンだった。

他のセクターでは、エネルギー、航空、小売、公益、運輸も振るわなかった。

だが、マーケットにはストップ高をつけたベトナムゴム工業グループ（GVR）のように顕著な株高を記録した銘柄もあった。水曜日は6.88%高の終値31,850ポイントで終わった。同社はベトナム市場で人気銘柄であり、強い上昇を示している。株価は先月、最大52%上昇した。

VPバンク（VPB）が2.29%高、テクコムバンク（TCB）が0.14%高、ベトナム国際銀行（VIB）が0.73%高といった銀行株の上昇も目立った。

一方でハノイ市場では、HNX指数は0.45%高の357.06ポイント。国内投資家による資金流入は3.1兆ドンだった。

外国人投資家は2市場で売り越し、3365億ドンの売り越しとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。